

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 国際推進室	所属長名	堀谷 修	電 話	483-1151 内線2337
-----	-------	-----	-------------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4077		事務事業名称	国際推進事業					短縮コード	経常	4077	臨時	4098
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市国際交流協会補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・平成に入ってから、国や県で国際推進・理解事業を推進していこうという方針が示された。 ・本市では、平成元年に市制25周年記念として国際姉妹都市提携事業を行うことを決め、候補市の選定を開始。平成4年8月にアメリカ合衆国テキサス州タイラー市と姉妹都市を提携。以後、親善訪問団の派遣・受け入れ事業を行ってきた。 ・平成18年1月には、市内の国際関係4団体が集まり、八千代市国際交流協会を設立。同会には、タイラー市との交流を行う国際姉妹都市部会、語学ボランティア部会、在住外国人への日本語指導を行う日本語指導ボランティア部会、国際交流に興味のある人が集まった国際交流促進部会があり、独自に活動している。 ・市は国際化・国際交流を推進のため、国際交流関係書簡の翻訳、親と子どものための学校ガイダンスの開催、バンコク都からの視察団受入等を実施。また、八千代市国際交流協会への助成及びサバイバル日本語講座を共催している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
・国際化への関心、対応への要望は年々高くなっている。 ・市内在住の外国人の数は減少傾向である。 ・各交流事業後に、個人的に交流をする人が多くなってきている。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
					中 項 目	02	地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進						
					小項目（施策）	02	平和と交流によるまちづくりの推進						
					細 項 目	02	市独自の国内外との交流によるまちづくりの推進						
				実施計画の計画事業	6104	国際推進事業(多文化共生プラン策定)							
					6105	国際推進事業(友好都市提携)							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成23年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	在住外国人，市民（住民基本台帳・外録含む）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： （仮称）多文化交流センターの設置、日本語指導ボランティアが実施したサバイバル日本語講座の共催、八千代市国際交流協会への支援、親子の学校ガイダンス、J I C Aへの協力。							
	※平成23年度に計画していること： 多文化交流センターの運営、タイラー市親善訪問のための連絡調整、八千代市国際交流協会への支援、日本語指導ボランティアが実施するサバイバル日本語講座の共催、親と子どものための学校ガイダンス、J I C Aへの協力。							
意図 （何を狙っているのか）	外国人との交流により、異文化に対する理解を深め、友好的な考え方を育て、なおかつ多くの人に広めていく。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	在住外国人登録者数	人	4, 189	4, 300	3, 994	3, 800	
	指標 2	市民（住民基本台帳・外録含む）	人	192, 570	196, 000	193, 274	196, 400	
	指標 3							
活動指標	指標 1	生活ガイドブックの配布数	部	50	0	0	0	
	指標 2	日本語ボランティア教室の開催回数	回	432	432	393	400	
	指標 3	タイラー市からの親善訪問団受入実行委員会の開催回数	回	6	12	16	0	
成果指標	指標 1	在住外国人のガイドブックを利用した割合	%	9. 45	0	0	0	
	指標 2	日本語ボランティア教室を受講した人数	人	292	432	412	400	
	指標 3	姉妹都市交流事業に参加した人数	人	46	40	32	40	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4077	事務事業名称	国際推進事業				所属名	総合企画課 国際推進室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			市内在住外国人の比率を見るとブラジルやペルーなどの南米出身者が多い。しかし、庁内にポルトガル語やスペイン語等の外国語が話せる職員がおらず、来庁した在住外国人への対応がしきれないという窓口担当者からの意見がある。平成２２年１０月に開所した多文化交流センターを活用し、関連部署と連携し情報の共有化を推進する。 八千代市国際交流協会については、同会が自主的に事業を企画・運営できるよう、市としてサポートしていく。また、役割分担をはっきりさせて共に活動していく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			在住外国人へ対応するための人的・物的経費が必要。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
タイラー市との交流の幅をもっと広げていった方がよいのではないか、という意見がある。									

所属長コメント	国際姉妹都市や国際友好都市との国際交流事業並びに在住外国人への日本語教室による支援や交流イベントを実施するなど、多文化共生プラン推進に向けて八千代市国際交流協会などと協力・連携を図りながら実施する。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			国際交流協会等と協力・連携し、課題解決に努め多文化共生への事業を推進すること。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									